

広野保育園けんこうだより 2月号

令和7年1月27日
幼保連携型認定こども園
広野保育園 No.29

今年は2月3日が立春です。暦の上では春を迎える時期とされていますが、これから2月にかけて最も寒くなります。インフルエンザなどの冬の感染症が増えてくることも考えられますので、手洗いをしっかり行い感染症予防に努めましょう。

正しく知って しっかり防ごう！ インフルエンザ



	A型	B型
流行時期	10月～2月（流行シーズンの前半）	2月～3月（流行シーズンの後半）
潜伏期間	1～2日（長くても3日）	1～2日（長くても3日）
熱	38℃以上の高熱	38℃以上の高熱または微熱のこともある
主な症状	関節痛・筋肉痛・頭痛・咳 のどの痛み・鼻水・全身の倦怠感 食欲不振・嘔吐・下痢・腹痛など	腹痛・嘔吐・下痢などの胃腸症状 咳・痰・関節痛・頭痛・筋肉痛 熱が上がったり下がったりと解熱しない 継続する全身の倦怠感

感染経路

飛沫感染

咳やくしゃみなどによって飛び散る飛沫に含まれる病原体を吸い込むことで、口や鼻などの粘膜を通じて感染します。



接触感染

咳を手で押さえた後や鼻水を手でぬぐった後にドアノブ、スイッチなどに触れるとウイルスを含んだ飛沫が付着することがあります。その場所に触れ、口や鼻に触れることで粘膜を通じて感染します。ドアノブなどに限らず、階段の手すり、テレビのリモコン、スナック菓子の袋の内側などを通じて感染することが分かっています。
*インフルエンザの家族が使った食器を片付ける際も接触感染の恐れがありますので、手指消毒を忘れずに行うようにしましょう。



心がまえ

「かからない」「うつさない」を基本に、人が多く集まる場所を避け、手洗いとアルコール消毒でインフルエンザを予防しましょう。また、かかった場合はマスクで咳エチケットを忘れずに行いましょう。



2/18(火) 0歳児(ひよこ組) 1歳児(桃組)
2歳児(桜組)

2/19(水) 3歳児(梅組) 4歳児(竹組)
5歳児(松組)



1月の感染症発生状況

- インフルエンザA型…3名
- RSウイルス感染症…1名

1/27 現在

もうすぐ節分です！

豆での窒息に注意!!



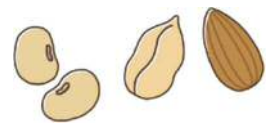
豆まきは楽しい行事ですが、この時期は子どもが豆を気管に詰まらせる事故が起きやすく注意が必要です。豆類は小さくて硬く滑りやすいため、歯が生えそろわず、噛む力が不十分な子どもはうまくかみ砕けず、気管に入ってしまうことがあります。消費者庁では「硬い豆やナッツ類は5歳以下の子どもには食べさせないで!」と注意喚起しています。加えて、豆まきは個包装されたものを使用するなど工夫して行い、5歳以下の子どもが拾って口に入れないように、後片付けを徹底するようとしています。しかし5歳になったから安心というわけではありません。子どもが豆を食べている間は必ずそばにつき、豆を気管に詰まらせないように見守る必要があります。



のどや気管に詰ませた時の症状



- ・突然息ができなくなる。
- ・急に咳込んだり息が苦しそうになったり、弱々しい咳しかできず、泣き声もか細い状態になる。
- ・急に咳込んだ後、咳が続いたり、息をするとのどや胸からゼーゼーやヒューヒューという音が聞こえたりする。



詰ませた時の応急手当

- ・意識がある場合は「ハイムリック法」、乳児は「背部叩打法」を行います。
- ・吐き出したものは、顔を横に向けさせて口を開いてかき出しましょう。



ハイムリック法

乳児

背部叩打法



後ろから抱きかかえ、みぞおちにこぶしをあて、上に向かって押し上げる

うつぶせにした乳児を片腕に乗せ、背中を強くたたく

のどや気管に詰ませたら

- ・咳込んでいても、息ができていながら、できるだけ泣かせないようにしながら急いで医療機関を受診しましょう。
- ・豆が詰まって声が出せず窒息しているような状況では、すぐに救急車を呼んで下さい。
- *豆が残っていると肺炎を起こす危険があります。速やかに医療機関を受診しましょう。



咳エチケットを教えましょう

鼻や口を覆わずに咳やくしゃみをする。ウイルスの入った飛沫を拡散させることになりません。マスクをしていないときは、手ではなく、ハンカチやティッシュペーパー、何もなければ袖で口元を覆うことを教えましょう。

*2歳未満のマスク着用は推奨されていません

何もしないで咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを手で押さえる

正しくマスクをつけ、口鼻を覆う

ハンカチやティッシュで、口鼻を押さえる

袖や肘の内側で口鼻を押さえる

